

# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2016年末に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 母との同居も3年に

ばあば(私の母)と同居して3年。それまでは一人で過ごしてきた母。私たちも、子育てで一番大変な時期を10年以上核家族で過ごしてきた中に、ばあばが加わったのです。

はじめは生活習慣の違いや、ちよつとした癖やルールが気になったり、イライラしたり…。その中で、できることやできないことなどお互いに受け入れあい、その上で役割を確認して生活するよう、日々努力しています。

ゴミの仕分けも慣れてきたなあと思つたのもつかの間、最近は分別も難しくなってきたり、「キッチンばさみががない!」と言って、それがソーメンの箱から出てきたり…不思議

な現象もちらほら。私もこつやつて歳を重ねていくのだらうなあと思つます。晩婚で出産も遅かつた私、子育てと介護が重ならないよう、もう10年は、ばあばにがんばってほしいと願っています。



本村衆院議員、島津衆院議員(当時)とともに政府交渉へ

# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2017年春に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 長男の中学卒業式で



本人任せにしていた長男の進学ですが、無事高校の新生活をスタートすることができました。

子育て世代の愚痴や思いを要望にかえたいと、子ども3人が0歳、2歳、4歳の時に市議会へ飛び込むことを決意した私。学童保育の仕事をしていた私は、子どもと「あれをして」「こ

れを大事にして」…と子育てへの思いがありながら、時間と仕事に追われ、子どもと向き合えていないのでは?という歯がゆさもありました。

そんな思いで迎えた中学校の卒業式。

この10年間、長男には我慢をさせたり、母が頼りにしたりと助けられたことの方が多かったなあ、という思いがあふれてきました。

これから「スマートフォンがほしい」「おこづかいがほしい」など、新たな親子の話し合い(バトル?)が広がる年になりそうです。子どもたちそれぞれが、新しい学校生活で自分が夢中になって取り組めることを見つけてほしいと思う母です。



消防団の観閲式に出席



# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2017年夏に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 福島・宮城・岩手を訪ねて

福島・宮城・岩手県へ行ってきました。欲張った日程にしたこともあり、駆け足となりましたが、あたたかい人に触れ、美味しいものを食べ、自然の豊かさを実感することができました。

毎年、東北に通っている元職場の仲間と一緒にだったので、心強く充実した4日間となりました。2011年は、長女がまだ1歳。

自分の中で何かできないかともやもやししながら、物資の購入、イベント、講演会などへの参加をしながら、6年が経ってしまいました。6年経ちましたが…自然の中に、汚染土入りの「除染袋」の山が連なっている現実。ボランティアに来たまま定住する人。奥さんの在宅介護をしながら、いち早く商店を復活させた80歳代の男性。今も盛り土の作業中のさら地の街。津波の天災以上に、人災である「原発」という政治の責任の大きさも感じた旅でもありました。

「東北に行くことだけが支援ではない、物資を買って応援したり、大きな災害があつたことを忘れないことが大事じゃない?」熱心にボランティアなどに取り組んでいる友人のひとこと。でも、仕事(視察)ではなく私的で「行ってみたい」という思いがありました。実現の後押しをしてくれた友人や家族などに感謝しての旅でした。



「3.11」被災地で



# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2017年秋に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 地域のつながりの温かさ

秋まつり・公民館まつり・児童センターまつり、そして学校や保育園・幼稚園の運動会など、秋は、毎週イベントでいっぱいです。そんな行事に出かけると、近所の方など久しぶりに会う方もいます。普段はあいさつ程度で、なかなかお話する機会がないのです。先日はお隣さんと立ち話。また子どもつながりで知り合いのママたちも立ち話。

「おばあちゃん元気?」

「高校どこいったの?部活は?」

「高校どこいったの?部活は?」などなど近況報告や情報交換、安否確認?!...とおしゃべりは途絶えません。まさしく、交流の場なのですね。

「会ったらお話ししたくて...」と移動の生活相談承り所にもなっています。でも、そんな場が居心地の良いのは、地域の温かさを肌で感じるからでしょうか。

災害時はもちろん、子どもたちやばあばの「見守り」のためにも大事にしていきたい「つながり」です。



大府東後援会総会で須山初美・参院選挙区予定候補と



# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2016年冬に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 日々の暮らしの中に幸せ見つけて

4番目の子(長女)が保育園の年長、上は中学生・小学生と、子どもたちは大きくなって手がかからなくなってきたはずなのに、なぜかいつにも増して大忙しでした。

春に市議会議員選挙が行われたことも一因ですが、今年度我が家は、保育園の保護者会の役員、6年生の次男と中学2年生の長男が共に野球ではメインの学年だったことなどが重なり多忙だったのだと、今になって気がつきました。

また、子どもが成長するにつれて家族で出かけるなど、家族そろっての時間が取りにくくなってきました。子どもたちの成長は嬉しいのですが、ふれあう時間をどうつくるかで焦りも感じています。

今年は日々の生活の中での幸せを見つけていく一年にしたいと思う年の始めです。



# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2016年春と秋に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 新年度の始まりに

我が家は、次男の中学校入学、長女の小学校の入学でスタート。14年以上通った保育園の送り迎えも終わり、4人が自分たちで登校するようになりました。

朝はゆつたりと新聞を読んで：：などと思いついて描いていましたが、初めての制服や初めての自転車通学で次男は朝から大騒ぎ。小学1年生より中学1年生に手がかかるとは想定外です。

大府市は、新しい市長と副市長でスタート。市長選で明らかになった大府市の課題にどう取り組んでいくのか、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

## 家族が増えました！

久永家に生後2か月の「チワプー」(チワワとプードルのミックス)がやってきました。「犬が欲しい！」と長年訴え続けていた長男の思いが実った瞬間です。

私の中では子育てが少し落ち着いてから：：と思っていたワンちゃん。ご縁があり、生後1か月の時に対面。抱っこしてしまつたら飼わない選択などありません。犬が苦手だった三男と長女とばあばもすぐに抱っこすることができるようになりました。新米の飼い主で、手さぐりのスタートでしたが、家族で日々癒されています。先日、毎年恒例の地域ぐるみの防災訓練に参加しました。7人(子ども4人、大人3人)と一匹ということ、非常持ち出し袋の中身の見直し、避難場所の確認などワンコがいる避難生活をイメージしながら、再度、家族で確認しなくては：：と気づいた夏の防災訓練です。





# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2015年の初めに発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 市民に寄りそう共産党議員として

今年・2015年の4月は、私の3回目の市議会議員選挙です。三男が生後4か月の時に選挙に出ることを決めたのが8年前。今思えば、怖いもの知らずのチャレンジでした。

学童保育所で働いていた私が今度は議員という立場で「子どもたちの育つ環境をもっと良くしたい」と転職を決めたのです。それからの8年間はあつという間でした。

20代の頃は、国民はどんな人でも必ず国や行政が守ってくれるものだと思っていました。

でも月に2〜3万円しかもらっていない祖母の年金からも、入院費・食費をねこそぎ取っていく現実を目の当たりにし、政治の冷たさを知

りました。そんな時、困っている人の立場で活動している日本共産党の人たちと出会いました。

その日本共産党の議員として、市民の願いや思いに寄り添いながら、今年も活動していく決意です。



# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース(年に4回発行)に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2015年の夏と秋に発行の「後援会ニュース」に掲載したものです。

## 子どもたちと語る、戦争・平和

「お母ちゃん せんそうつてい  
まやつてるところあるの?」5歳の長  
女が突然聞いてきました。「でも、  
せんそうはしないほうがいいよね。  
ひとがしなないし、じゆうだから」  
「…でもじゆうじゃないか。おこら  
れるから」(↑これは余分ですが)  
5歳でも嫌だという「戦争」を  
安倍首相はやりたがる。今、地  
域を回っていてもほとんどの人が  
「戦争立法反対!」の署名をし  
てくれます。もう国会では弁解  
しようがありません。  
子どもたちを含む、たくさん  
人の声を署名として国会へ届ける  
ために、母はがんばりどきです!

私の次男  
は大の野球  
好き。明け  
ても暮れても野球のテレビ、野  
球のラジオ、野球のゲーム…。  
一日中、野球観戦していら  
れるほどです。



今年高校野球100周年  
の年でした。でも戦争で3年間  
行われなかったので 回目にな  
ります。

私が「戦争になったら野球  
なんてできないよ!」と身近な  
人と話していると「お母ちゃん、  
ぼくもアレ(平和を守ろう。パ  
レード)に行きたい!」と次男。  
初めて家族全員で「平和を守  
ろう」パレードに参加しまし  
た。

家族の団らん、家族での旅  
行、スポーツ、趣味…平和だ  
からできること。みんなと一緒  
に守っていききたいです。

